

製品名: SMRTe ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18032**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	270kDa

抗原情報

遺伝子名	NCOR2 NCOR2; CTG26; Nuclear receptor corepressor 2; N-CoR2; CTG repeat protein 26; SMAP270;
別名	Silencing mediator of retinoic acid and thyroid hormone receptor; SMRT; T3 receptor-associating factor; TRAC; Thyroid-; retinoic-acid-receptor-associated
遺伝子 ID	9612.0
SwissProt ID	Q9Y618
免疫原	抗血清はヒト NCOR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 511-560

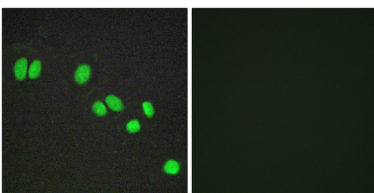
背景

この遺伝子は、特定の標的遺伝子の転写サイレンシングを媒介する核内受容体コリプレッサーをコードしています。コードされているタンパク質は、甲状腺ホルモン受容体およびレチノイン酸受容体関連コリプレッサーファミリーのメンバーです。このタンパク質は、ヒストン脱アセチル化酵素を含む多サブユニット複合体の一部として機能し、標的遺伝子の基本的な転写活性を阻害するクロマチン構造を改変します。この遺伝子の異常発現は、特定の癌と関連しています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2011年4月]、ドメイン: N末端領域には、3つの独立した抑制ドメイン (RD1、RD2、および RD3) に分割された抑制機能が含まれています。C末端領域には、2つの独立した相互作用ドメイン (ID1 および ID2) に分割された核内受容体相互作用ドメインが含まれています。ドメイン: 2つの相互作用ドメイン (ID) には、CORNR ボックスと呼ばれる保存配列が含まれています。このモチーフは、連結されていない TR および RARS への結合を可能にするために必要かつ十分です。CORNR ボックスに隣接する配列は、核ホルモン受容体の特異性を決定します。機能: クロマチン凝縮を促進することで、いくつかの核受容体の転写抑制活性を媒介し、それによって基礎転写へのアクセスを妨げます。アイソフォーム 1 とアイソフォーム 5 は、異なる核受容体に対して異なる親和性を持っています。誘導: 細胞周期の進行中に調節されます。配列注意: 汚染配列。N末端部分に未知の起源の配列があります。配列注意: CDS の選択が間違っています。類似性: N-CoR 核受容体コリプレッサーファミリーに属します。類似性: 2つの SANT ドメインを含みます。サブユニット: HDAC7 と相互作用します (類似性による)。SIN3A/B とヒストン脱アセチル化酵素 HDAC1 および HDAC2 を含む大きなコリプレッサー複合体を形成します。この複合体は、リガンド非存在下で甲状腺 (TR) 受容体およびレチノイド酸受容体 (RAR) と会合し、TFIIB との相互作用を安定化させる可能性がある。アイソフォーム SRMT は HDAC10 と相互作用する。MINT と相互作用する。N-CoR リプレッサー複合体の構成要素であり、少なくとも NCOR1、NCOR2、HDAC3、TBL1X、TBL1R、CORO2A、および GPS2 から構成される。CBFA2T3 と相互作用する。C1D と相互作用する (類似性による)。ATXN1L と相互作用する。組織特異性: 普遍的。肺、脾臓、脳で高レベルの発現が検出される。、

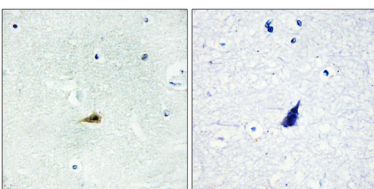
研究分野

ノッチ;

画像データ



NCOR2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



NCOR2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。